学生の確保の見通し等を記載した書類【別添資料】一覧

【別添資料 1】 【別添資料 2】	私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 設置状況・入学定員・志願者・入学者(平成30~令和3年度) 私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 定員 ならびに充足状況(令和3年5月1日時点)
【別添資料 3】	大手前大学大阪大手前キャンパスへのアクセス
【別添資料 4】	大手前大学大学院 「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」 設置に係る学生確保の見通し調査 報告書
【別添資料 5】	私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 学納金一覧
【別添資料 6】	大手前大学通信教育課程の入学定員超過・収容定員充足状況等一覧 (平成 30~令和 3 年度)
【別添資料 7】	令和 2 年度医療機関における外国人患者の受入に係る実際調査について (概要版)
【別添資料 8】	在留外国人数の推移(平成 24~令和 3 年)
【別添資料 9】	都道府県別在留外国人数(令和3年)
【別添資料 10】	在留外国人総数上位100市区町(令和3年)
【別添資料 11】	就業保健師・助産師・看護師数及び率(人口10万対) 令和2年末時点
【別添資料 12】	プレスリリース&要望書(保健師・助産師教育の大学院教育への移行 2020年3月27日)
【別添資料 13】	大手前大学大学院 「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」 設置に係る人材需要の見通し調査 報告書

【別添資料1】私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 設置状況・入学定員・志願者・入学者(平成30~令和3年度)

	集計	入学定員	志願者	入学者	入学定員
年度	研究科数	A	В	С	充足率
		(人)	(人)	(人)	C/A
平成30年度	57	606	592	466	76.90
平成31年度	60	629	529	419	66.61
令和2年度	64	656	600	426	64.94
令和3年度	69	695	595	455	65.47
平均	63	647	579	442	68.29

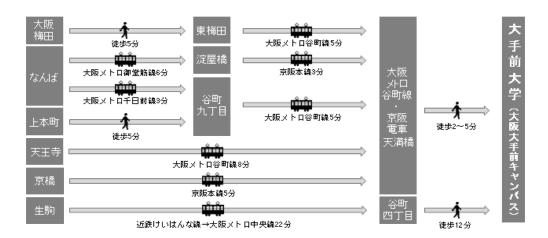
[※] 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より

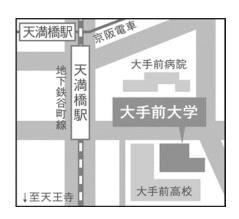
【別添資料 2 】私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 定員ならびに充足状況 (令和 3 年 5 月 1 日時点)

番号	都道府県名	所在地	大学院名	研究科名	専攻名	入学 定員 (人	収容定員(人	在籍者数(人	充足率 (%)	備考
1	滋賀県	彦根市	聖泉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	13	108.3%	
2		京都市 山科区	京都橘大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	8	16	16	100.0%	
3	京都府	京都市 右京区	京都光華女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	5	10	9	90.0%	
4	水和机	京田辺市	同志社女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	6	50.0%	入学定員の内、3名は助産師養成課 程。
5		京都市 中京区	京都看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	7	14	15	107.1%	入学定員の内、3名は保健師養成課 程。
6		高槻市	大阪医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	8	16	21	131.3%	
7		枚方市	関西医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	20	40	24	60.0%	
8		大阪市 住之江区	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	6	12	5	41.7%	
9	大阪府	泉南郡 熊取町	関西医療大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	9	18	21	116.7%	
10		茨木市	藍野大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	12	100.0%	
11		羽曳野市	四天王寺大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	12	100.0%	
12		枚方市	摂南大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	12	100.0%	
13		神戸市 中央区	神戸女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	8	16	19	118.8%	
14		神戸市 東灘区	甲南女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	5	10	7	70.0%	
15		赤穂市	関西福祉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	2	16.7%	
16		西宮市	武庫川女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	15	27	24	88.9%	入学定員の内、6名は保健師養成課 程。令和3年度定員増(12⇒15名)
17	兵庫県	神戸市 中央区	兵庫医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	8	16	20	125.0%	
18		三木市	関西国際大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	1	8.3%	
19		淡路市	関西看護医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	7	14	15	107.1%	入学定員の内、3名は助産師養成課 程。
20		姫路市	姫路大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	9	75.0%	
21		加古川市	兵庫大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	6	12	3	25.0%	
22	太卢坦	北葛城郡 広陵町	畿央大学大学院	健康科学研究科	健康科学専攻	20	40	67	167.5%	看護以外のコースを含む。
23	奈良県	生駒郡 三郷町	奈良学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	8	16	12	75.0%	
					合計	188	373	345	92.5%	

※ 各大学公式WEBサイトより

【別添資料3】大手前大学大阪大手前キャンパスへのアクセス





【別添資料4】

大手前大学大学院

「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」

設置に係る学生確保の見通し調査

(入学意向についてのアンケート調査)

報告書

令和4(2022)年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

添付資料	28
学生確保の見通し調査結果 まとめ	27
3 集計結果のポイント	19
2-3 集計結果③(開設3年目:大手前大学国際看護学部1年生が対象)	14
2-2 集計結果②(開設2年目:大手前大学国際看護学部2年生が対象)	9
2-1 集計結果①(開設時:現職看護職者+大手前大学国際看護学部3年生	が対象) 3
1 入学意向についてのアンケート調査の概要	2

1 入学意向についてのアンケート調査の概要

調	査	目	的	令和 5(2023) 年 4 月開設に向け、設置構想中である大手前大学大学院「「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程」(仮称/入学定員 12 名を予定)の志願・入学意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調	査	時	期	令和3 (2021) 年12月~令和4 (2022) 年1月
調	査	対	象	以下に在職する看護職者 病院(大阪府内の80床以上)379箇所 訪問看護ステーション(本研究科が設置予定の大阪市中央区ならびに周辺区)139箇所 介護老人保健施設(大阪市中央区ならびに周辺区)20箇所 特別養護老人ホーム(大阪市中央区ならびに周辺区)31箇所 地方自治体(大阪府庁および大阪府内の全市役所・町村役場、滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県の各府または県庁、京都市役所、神戸市役所)49箇所 以下に在籍する看護学部学生 大手前大学国際看護学部3年生(令和5(2023)年3月卒業予定) 同 2年生(令和6(2024)年3月卒業予定) 同 1年生(令和7(2025)年3月卒業予定)
調	査	内	容	選択肢式の11 問。一部記述。 回答者の基本情報(居住地、所属先、免許・資格、累計勤務年数等)、 大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」 への受験・入学意思について。
回	収	件	数	162 件 (現職看護職者+大手前大学国際看護学部3年生) 74 件 (大手前大学国際看護学部2年生) 85 件 (大手前大学国際看護学部1年生) 計 321 件

2-1 集計結果①(開設時:現職看護職者+大手前大学国際看護学部3年生が対象)

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」	169 H
入学意向についてのアンケート調査	162 件

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	大阪府	137	84.6%
2	兵庫県	16	9.9%
3	奈良県	3	1.9%
4	京都府	3	1.9%
5	滋賀県	1	0.6%
6	和歌山県	1	0.6%
7	その他	1	0.6%
	無回答	0	0.0%
	숌計	162	100.0%

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	医療機関	69	42.6%
2	介護保険関連施設	5	3.1%
3	訪問看護ステーション	13	8.0%
4	行政(保健センター・保健所)	1	0.6%
5	大学生(学部生)	74	45.7%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	숌計	162	100.0%

あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまる問3 もの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	看護師	156	96.3%
2	保健師	10	6.2%
3	助産師	2	1.2%
4	その他	3	1.9%

問4 あなたの看護職者としての累計勤務年数を お答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	経験なし	72	44.4%
2	2年未満	0	0.0%
3	2~4年	7	4.3%
4	5~9年	11	6.8%
5	10~14年	10	6.2%
6	15~19年	14	8.6%
7	20年以上	44	27.2%
	無回答	4	2.5%
	合計	162	100.0%

問5 あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。(あてはまるもの 1 つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	高校卒(看護科以外)	25	15.4%
2	高校看護科卒	4	2.5%
3	専門学校卒	43	26.5%
4	短期大学卒	7	4.3%
5	大学卒	76	46.9%
6	大学院以上	5	3.1%
	無回答	2	1.2%
	숌計	162	100.0%

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あて 問6 はまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	43	26.5%
2	受験しない	118	72.8%
	無回答	1	0.6%
	<u></u>	162	100.0%

以降は、問6で「受験したい」と回答した者が回答対象である。

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したい問7 と思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	21	48.8%
2	状況によって入学を検討したい	22	51.2%
	無回答	0	0.0%
	숌計	43	100.0%

大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」において、あなたが希望する分野をお答えく 問8 ださい。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	看護実践科学分野	21	48.8%
2	公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)	13	30.2%
3	助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)	10	23.3%

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によ問9 って入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	23	53.5%
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	21	48.8%
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	6	14.0%
4	保健師または助産師として活躍したいので	14	32.6%
5	将来、教育者、研究者になりたいので	1	2.3%
6	国際的に活動する看護職になりたいので	4	9.3%
7	その他	1	2.3%

問 10・問 11 は、問6で「受験しない」と回答した者が回答対象である。

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお 問10 答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	大学院に進学する必要性を感じないため	50	42.4%
2	大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に魅力を感じないため	9	7.6%
3	経済的、金銭的理由	47	39.8%
4	仕事が忙しいため	32	27.1%
5	子育て中のため	5	4.2%
6	家庭の事情	9	7.6%
7	その他	16	13.6%

問11 どのような条件が整えば看護系大学院への進学を検討されるかご記入ください。

※原文ママ

選択項目	業種
オンラインあり、ゆっくり自分のペースでできる	医療機関
お金	医療機関
キャリアアップ(大学教員などの採用につながるなど)	医療機関
家庭の環境が落ち着けば。	医療機関
学費の安さ、通学時間の短さ、子育てが終わる	医療機関
看護師として何年か働けば、学士が取れる。その後修士を検討したい。	[And 1996]
現在、他の通信大学で学士の勉強中のため、卒業後検討したい。	医療機関
休職が可能となり経済的に余裕ができれば	医療機関
金額、授業時間、仕事との両立が可能か	医療機関
金銭面的支援	医療機関
経済面での支援がある。	医療機関
現在の仕事が落ち着いてたら。	医療機関
今の職場は看護研究や理論が行き届いていない職場です。そのような個人経営の医療機	
関や小さな施設にも適切な教育、指導が行き届くようになるのであれば、進学を検討する	医療機関
医療機関や施設があるのではないでしょうか。	
今は、考えていない	医療機関
仕事との両立を考え単位を取りやすい方法(時間帯など)が考慮されれば	医療機関
仕事と両立	医療機関
仕事を休むことができる。休んでいる間の金銭面も心配。	医療機関
仕事内容が明確で、需要があると分かったら	医療機関
子育て、業務が落ち着き、余裕ができた時にスキルアップを目指すことを思えれば…	医療機関
子供が育ち、家庭が落ち着けば。	医療機関
資金面での援助	医療機関
自分がどの道に進むか決めた時	医療機関
自分が学びたいと思う気持ちになること。	医療機関
奨学金の返済や家庭の金銭的問題が解決したら進学してみたい。	医療機関
上記設問の理由が解消されたら、将来的には受験を検討したい。	医療機関
職場からの時間と金銭の支援	医療機関
卒業生として学費を安くしてほしい	医療機関
通学が不要なこと(オンライン)	医療機関

必要性を感じないため現時点では検討していません。	医療機関
病院からのバックアップが必要	医療機関
臨床実践の中でのニーズにあえば	医療機関
金銭的な支援	訪問看護ステーション
金銭面。業務の融通がきかない	訪問看護ステーション
仕事、家庭と学業との両立が可能な環境が整えば	訪問看護ステーション
時間確保ができたら	訪問看護ステーション
知識の必要性はいつも感じているがもう若くないから体力がもたないし知識が頭に入らな いと思う	訪問看護ステーション
入学金なし	訪問看護ステーション
必要性がないため	訪問看護ステーション
2年の年月と大金を支払う価値があると思えば検討	大学生(学部生)
NP 養成の知識が学べる場合	大学生(学部生)
海外留学プログラムがある	大学生(学部生)
学費が安くなれば、進学を検討するかもしれないです。	大学生(学部生)
看護師として働いてみて、看護を深めたいと思った場合。	
看護系技官になる、なりたい場合。	大学生(学部生)
金銭の問題と、助産に進む気が固まったら	大学生(学部生)
経済面で余裕ができたら	大学生(学部生)
時間とお金をかけて資格をとる必要性を感じれば検討	大学生(学部生)
自分が研究したいと思う気持ちと金銭面	大学生(学部生)
助産科があれば検討したいです。	大学生(学部生)
奨学金制度	大学生(学部生)
奨学金制度、より国際看護に特化した内容	大学生(学部生)
奨学金制度が整っている場合	大学生(学部生)
大学院に行きたいという思いがあったら	大学生(学部生)
日本学生支援機構の奨学金ではなく、大学の奨学金があり、利用できるのなら	大学生(学部生)
必要性を感じたら	大学生(学部生)
必要性を感じれば	大学生(学部生)
臨床で働いてキャリアアップをしたいと思ったとき、大学院でしかできないことをやりたいと 感じたときに、経済状況や他のことも考えて進学を検討したいと考えている。	大学生(学部生)

2-2 集計結果②(開設2年目:大手前大学国際看護学部2年生が対象)

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」	74 件
入学意向についてのアンケート調査	74 1 11

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	大阪府	57	77.0%
2	兵庫県	11	14.9%
3	奈良県	3	4.1%
4	京都府	1	1.4%
5	滋賀県	0	0.0%
6	和歌山県	1	1.4%
7	その他	1	1.4%
	無回答	0	0.0%
	숌計	74	100.0%

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	医療機関	1	1.4%
2	介護保険関連施設	0	0.0%
3	訪問看護ステーション	0	0.0%
4	行政(保健センター・保健所)	0	0.0%
5	大学生(学部生)	73	98.6%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	74	100.0%

あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまる問3 もの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	構成比
1	看護師	57	77.0%
2	保健師	1	1.4%
3	助産師	2	2.7%
4	その他	5	6.8%

問4 あなたの看護職者としての累計勤務年数を お答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	経験なし	72	97.3%
2	2年未満	0	0.0%
3	2~4年	0	0.0%
4	5~9年	2	2.7%
5	10~14年	0	0.0%
6	15~19年	0	0.0%
7	20年以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	숌計	74	100.0%

あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。(あてはまるもの 1 つにマ問5 ーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	高校卒(看護科以外)	28	37.8%
2	高校看護科卒	0	0.0%
3	専門学校卒	0	0.0%
4	短期大学卒	0	0.0%
5	大学卒	46	62.2%
6	大学院以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	74	100.0%

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あて 問6 はまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	23	31.1%
2	受験しない	49	66.2%
	無回答	2	2.7%
	숌計	74	100.0%

以降は、問6で「受験したい」と回答した者が回答対象である。

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したい 問7 と思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	12	52.2%
2	状況によって入学を検討したい	11	47.8%
	無回答	0	0.0%
	숌計	23	100.0%

大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」において、あなたが希望する分野をお答えく 問8 ださい。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	看護実践科学分野	8	34.8%
2	公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)	11	47.8%
3	助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)	14	60.9%

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によ問9 って入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	6	26.1%
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	4	17.4%
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	2	8.7%
4	保健師または助産師として活躍したいので	13	56.5%
5	将来、教育者、研究者になりたいので	3	13.0%
6	国際的に活動する看護職になりたいので	8	34.8%
7	その他	0	0.0%

問 10・問 11 は、問6で「受験しない」と回答した者が回答対象である。

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお 問10 答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	大学院に進学する必要性を感じないため	19	38.8%
2	大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に魅力を感じない ため	1	2.0%
3	経済的、金銭的理由	26	53.1%
4	仕事が忙しいため	0	0.0%
5	子育て中のため	2	4.1%
6	家庭の事情	1	2.0%
7	その他	4	8.2%

問11 どのような条件が整えば看護系大学院への進学を検討されるかご記入ください。

※原文ママ

選択項目	業種
お金が安い	大学生(学部生)
医療現場で働きながら大学院生活を送れるかを考えられれば	大学生(学部生)
学費	大学生(学部生)
学費の減額、特待制度など	大学生(学部生)
学費免除	大学生(学部生)
看護師をしながら社会のことも学べる(政治など)	大学生(学部生)
金銭面に余裕があれば検討する	大学生(学部生)
在学生は学費減免	大学生(学部生)
自分が興味を持てる分野を見つけることができたとき	大学生(学部生)
自分の意志があれば	大学生(学部生)
授業料が高いのでもう少し安くなれば	大学生(学部生)
就職してお金が貯まって、キャリアを積んだらいつか進学するかもしれないと思っています。	大学生(学部生)
奨学金(給付)	大学生(学部生)
奨学金(給付型)制度の充実	大学生(学部生)
知名度、実績	大学生(学部生)
認定看護師、専門看護師の資格が取れる	大学生(学部生)
保健師の資格が欲しい場合	大学生(学部生)
保健師や助産師を目指したいと思えば	大学生(学部生)

2-3 集計結果③(開設3年目:大手前大学国際看護学部1年生が対象)

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」	85 件
入学意向についてのアンケート調査	85 14

問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	大阪府	57	67.1%
2	兵庫県	17	20.0%
3	奈良県	4	4.7%
4	京都府	5	5.9%
5	滋賀県	1	1.2%
6	和歌山県	1	1.2%
7	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	85	100.0%

問2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	医療機関	0	0.0%
2	介護保険関連施設	0	0.0%
3	訪問看護ステーション	0	0.0%
4	行政(保健センター・保健所)	0	0.0%
5	大学生(学部生)	85	100.0%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	85	100.0%

あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまる問3 もの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	構成比
1	看護師	58	68.2%
2	保健師	0	0.0%
3	助産師	1	1.2%
4	その他	3	3.5%

問4 あなたの看護職者としての累計勤務年数を お答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	経験なし	84	98.8%
2	2年未満	0	0.0%
3	2~4年	0	0.0%
4	5~9年	0	0.0%
5	10~14年	0	0.0%
6	15~19年	0	0.0%
7	20年以上	0	0.0%
	無回答	1	1.2%
	숌計	85	100.0%

あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。(あてはまるもの 1 つにマ問5 ーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	高校卒(看護科以外)	41	48.2%
2	高校看護科卒	1	1.2%
3	専門学校卒	0	0.0%
4	短期大学卒	0	0.0%
5	大学卒	43	50.6%
6	大学院以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	85	100.0%

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あて 問6 はまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	49	57.6%
2	受験しない	35	41.2%
	無回答	1	1.2%
	<u></u>	85	100.0%

以降は、問6で「受験したい」と回答した者が回答対象である。

あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したい問7 と思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	19	38.8%
2	状況によって入学を検討したい	29	59.2%
	無回答	1	2.0%
	숌計	49	100.0%

大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」において、あなたが希望する分野をお答えく 問8 ださい。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

		選択項目	回答数	構成比
Ī	1	看護実践科学分野	15	30.6%
Ī	2	公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)	23	46.9%
Ī	3	助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)	23	46.9%

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によ問9 って入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目				
1	1 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので				
2	修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	10	20.4%		
3	将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	3	6.1%		
4	保健師または助産師として活躍したいので	26	53.1%		
5	将来、教育者、研究者になりたいので	1	2.0%		
6	国際的に活動する看護職になりたいので	22	44.9%		
7	その他	2	4.1%		

問 10・問 11 は、問6で「受験しない」と回答した者が回答対象である。

あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお 問10 答えください。(あてはまるもの全てにマーク)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	構成比
1	大学院に進学する必要性を感じないため	12	34.3%
2	大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に魅力を感じな	2	5.7%
2	いため	2	5.7%
3	経済的、金銭的理由	14	40.0%
4	仕事が忙しいため	0	0.0%
5	子育て中のため	0	0.0%
6	家庭の事情	0	0.0%
7	その他	7	20.0%

問11 どのような条件が整えば看護系大学院への進学を検討されるかご記入ください。

※原文ママ

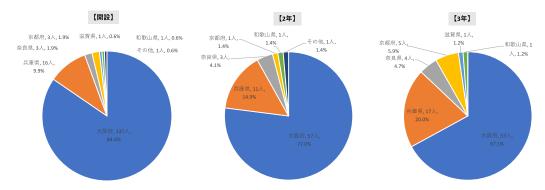
選択項目	業種
学費と時間に余裕があれば	大学生(学部生)
学費の免除など	大学生(学部生)
学費の問題をクリアできれば	大学生(学部生)
金銭的に安ければ検討します。	大学生(学部生)
金銭面で判断	大学生(学部生)
経済的な余裕	大学生(学部生)
経済的余裕がなくても、支援を受けられる	大学生(学部生)
行きたいと思えば行く	大学生(学部生)
合格することができたら進学したいです。	大学生(学部生)
自分が看護師になってキャリアアップが必要だと感じれば	大学生(学部生)
養護教諭一種が取得できる	大学生(学部生)

3 集計結果のポイント

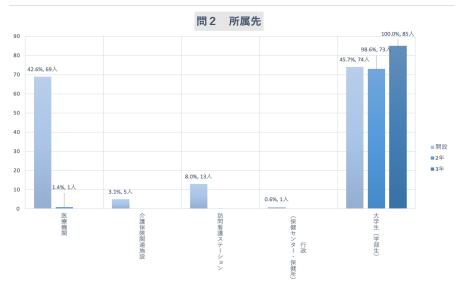
※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。 ※アンケート集計結果は【開設時】【開設 2 年目】【開設 3 年目】を分けて解説する。

① 回答者の基本情報

回答者の所在地で一番多かったのは、それぞれ「大阪府」であった。【開設時】は「137人(84.6%)、【開設2年目】は57人(77.0%)、【開設3年目】は57人(67.1%)であった。次いで、「兵庫県」で【開設時】は16人(9.9%)、【開設2年目】は11人(14.9%)、【開設3年目】は17人(20.0%)であった。「国際看護学研究科 看護学専攻修士課程(仮称)」は、大阪府を開設場所として予定しており、アンケート対象として適切であると言える。

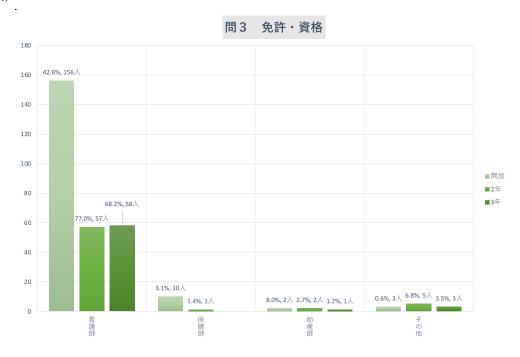


また、回答者の所属先で一番多かったのは、それぞれ「大学生(学部生)」であった。【開設時】は74人(45.7%)、【開設2年目】は73人(98.6%)、【開設3年目】は85人(100.0%)であった。次いで多かったのは「医療機関」で【開設時】が69人(42.6%)、【開設2年目】が1人(1.4%)であった。



② 回答者の保有・取得予定の免許・資格は「看護師」が一番多い

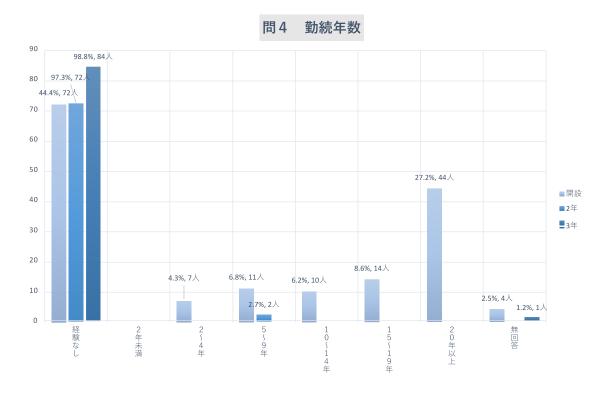
回答者が保有している免許・資格について質問したところ(現在学生の方は取得予定のもの)、一番多かったのはそれぞれ「看護師」で【開設時】が156人(96.3%)、【開設2年目】が57人(77.0%)、【開設3年目】が58人(68.2%)であった。(複数回答の結果)



③ 回答者の多くが看護職者としての勤務経験なし

回答者の看護職者としての勤続年数について質問したところ、一番多かったのは「経験なし」で【開設時】が72人(44.4%)、【開設2年目】が72人(97.3%)、【開設3年目】が84人(98.9%)であった。

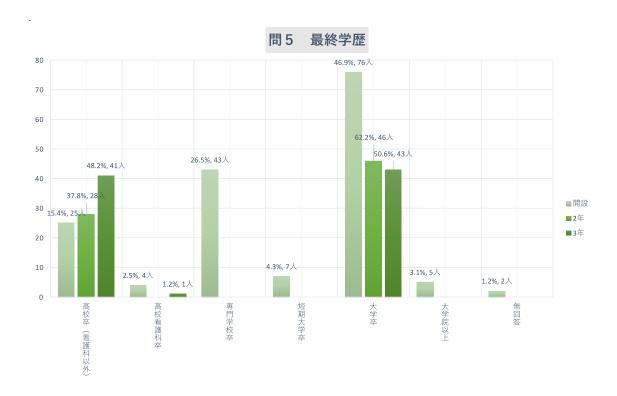
次いで、【開設時】で多かったのは、「20年以上」で44人(27.2%)、「15~19年」で14人(8.6%)の順であった。【開設2年目】で多かったのは「5~9年」で2人(2.7%)であった。



④ 回答者の多くが最終学歴「大学卒」

回答者の最終学歴で一番多かったのは、それぞれ「大学卒」であり、【開設時】が 76 人 (46.9%)、【開設 2 年目】が 46 人 (62.2%)、【開設 3 年目】が 43 人 (50.6%)であった。

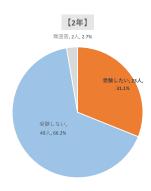
次いで、【開設時】で多かったのが「専門学校卒」で43人(26.5%)、【開設2年目】が「高校卒(看護科以外)で28人(37.8%)、同じく【開設3年目】が41人(48.2%)であった。



⑤ 入学定員(12 名予定)を受験意志が大幅に上回る

回答者に「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)」の受験意向について質問したところ、【開設時】が43人(26.5%)、【開設2年目】が23人(31.1%)、【開設3年目】が49人(57.6%)であった。国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」は、入学定員を12名と予定しており、それぞれ大幅に上回る結果となった。







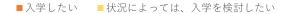
⑥ 入学意志が、入学定員(12 名予定)を大幅に上回る

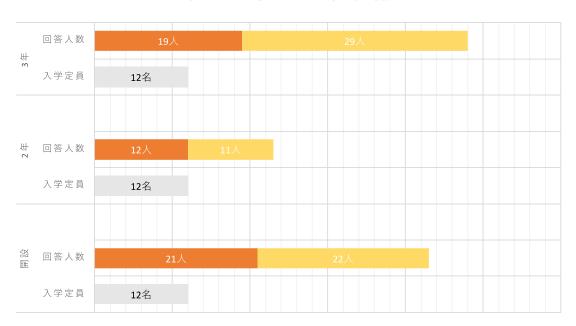
問6で「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験したい」と回答した 回答者に対し、さらに問7で入学意向について質問してみた。

その結果、「入学したい」と回答したのは【開設時】は21人、【開設2年目】は12人、 【開設3年目】は19人であった。

また、「状況によっては、入学を検討したい」と回答したのは、【開設時】は22人、【開設2年目】は11人、【開設3年目】は29人であり、合計すると【開設時】が43人、【開設2年目】が23人、【開設3年目】が48人であり、それぞれ予定する入学定員を大幅に上回る結果となった。

問7 入学意志





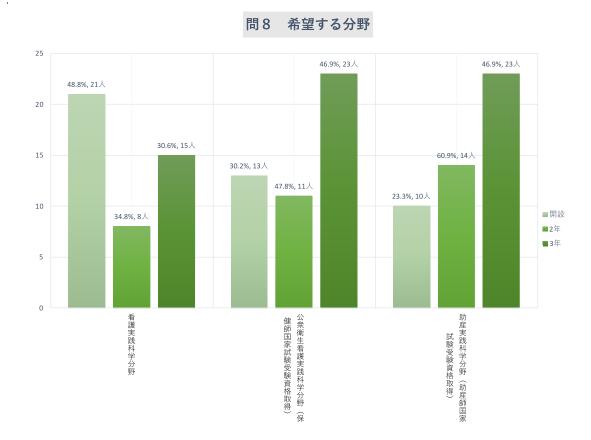
⑦ 回答者の希望する分野について、それぞれに興味を示す

問6で「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験したい」と回答した回答者に対し、問8で「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」で希望する分野について質問した。

【開設時】で一番多かったのは、「看護実践科学分野」で 21 人 (48.8%)、次いで「公衆衛生看護実践科学分野 (保健師国家試験受験資格取得)」が 13 人 (30.2%) の順であった。

【開設2年目】で一番多かったのは、「助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)」で14人(60.9%)、次いで「公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)」が11人(47.8%)の順であった。

【開設3年目】で一番多かったのは、「公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)」と「助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)」で23人(46.9%)であった。(複数回答の結果)



⑧ 入学意志を示した理由について

問6で「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験したい」と回答した回答者に対し、問9で入学意志を示した理由について質問したところ、以下の表の通りであった。 (複数回答の結果)

【開設時】

選択項目	回答数	回答率
臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	23 人	53.5%
修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	21 人	48.8%
保健師または助産師として活躍したいので	14 人	32.6%
将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	6 人	14.0%
国際的に活動する看護職になりたいので	4 人	9.3%
将来、教育者、研究者になりたいので	1人	2.3%
その他	1人	2.3%

【開設2年目】

選択項目	回答数	回答率
保健師または助産師として活躍したいので	13 人	56.5%
国際的に活動する看護職になりたいので	8 人	34.8%
臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	6 人	26.1%
修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	4 人	17.4%
将来、教育者、研究者になりたいので	3 人	13.0%
将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	2 人	8.7%
その他	0人	0.0%

【開設3年目】

選択項目	回答数	回答率
保健師または助産師として活躍したいので	26 人	53.1%
国際的に活動する看護職になりたいので	22 人	44.9%
臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	20 人	40.8%
修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	10 人	20.4%
将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので	3 人	6.1%
その他	2 人	4.1%
将来、教育者、研究者になりたいので	1人	2.0%

学生確保の見通し調査結果 まとめ

令和 5 (2023) 年 4 月に設置構想中の大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻修士課程(仮称)」の学生確保の見通しを測るため、設置予定地の大阪府を中心とした保健・医療機関、福祉施設ならびに大手前大学国際看護学部学生にアンケート調査を依頼し、合計 321 人から回答を得た。

集計結果は、【開設時】【開設2年目】【開設3年目】でそれぞれ分けて集計し、「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の受験意向を質問したところ、【開設時】が43人(26.5%)、【開設2年目】が23人(31.1%)、【開設3年目】が49人(57.6%)であった。さらに、入学意志について質問したところ、「入学したい」と回答したのは【開設時】は21人、【開設2年目】は12人、【開設3年目】は19人であった。

また、「状況によっては、入学を検討したい」と回答したのは、【開設時】は22人、【開設2年目】は11人、【開設3年目】は29人であり、合計すると【開設時】が43人、【開設2年目】が23人、【開設3年目】が48人であった。「入学したい」と強い入学意志を示した者だけでも、それぞれ国際看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)」が予定する入学定員12名を大幅に上回る結果となった。

したがって、令和 5 (2023) 年 4 月に設置構想中である大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)」の学生確保の見通しについて問題がないと判断できる。

添 付 資 料

資料 1 大手前大学大学院「国際看護学研究科(仮称)」概要

資料2 入学意向についてのアンケート調査用紙

資料1 大手前大学大学院「国際看護学研究科(仮称)」概要

アンケートに答える前に大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 (仮称・設置構想中)の概要」をお読みください。

2023年4月開設に向け、設置構想中

院 国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)

研究科の概

開 設 時 期 : 2023(令和5)年4月(予定)

開 設 揚 所 : 大手前大学 大阪大手前キャンパス(大阪市中央区大手前2-1-88) 修 業 年 限 : 2年 ※大学院設置基準14条特例による長期履修制度を導入予定

入 学 定 員: 12名を予定/男女共学(収容定員:24名を予定)

取 得 学 位 : 修士(看護学)

取得可能資格 : 保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格

養成する人材: 高度な看護実践能力を基に、グローバル社会に暮らす多様な背景をもつ人々を対象に、人々の健康支援と幸せに貢献する

ことを使命として、多様な健康課題に取り組み、より良い看護を探求し、他の学際的な専門領域とも協働して課題解決を図る

グローバル人材を育成することを目的とする。

■本研究科の理念

本研究科では、研究者として俯瞰的に物事を捉える能力と、専門性の高い看護学の知識と看護実践能力を基に、グローバル社会に暮らす多様な背景をもつ人々を対象に、人々の健康支援と幸せに貢献することを使命として、人権意識と高潔な倫理観、使命感と高い志をもって社会の困難な健康課題に取り組む看護研究や看護実践を行う人材を養成します。さらに、他の専門職とも協働して課題解決を図るための看護実践が展開できる能力を育成します。そして、研究、教育、実践の場において看護の探求を継続し、研究成果にもとづく看護実践を主体的に展開し、国際社会や地域社会の発展に貢献し、そこに暮らす人々の健康とクオリティ・オブ・ライフ(Quality of Life)に貢献することを理念とします。

■3つの分野

1. 看護実践科学分野

基盤看護学領域、生涯発達看護学領域、国際地域看護学領域の3 領域を設け、多様な背景を育する人々のライフサイクルに沿った健康 課題に加えて、発育・発達期にみられる健康問題に関する知識を深め、 課題解決を図るための方策を議論し、臨床現場における看護実践の 當向上に向けた探求心を拾います。

2. 公衆衛生看護実践科学分野

看護実践科学分野の学修を基盤として、様々な人々が暮らすグロー パル社会の枠組みを客製的に捉え、そこに暮らす個人や家族、集団 や組織、そして地域社会の健康支援に向けて取り組むための公衆衛 生看護学を学修します。また、社会システムの変革に取り組む視歴も 培うためにデータがもつ意味や分析の重要性、分析結果の機示方法 等、プレゼンテーション能力についても、課義中のディスカッションを通 じて学修します。

3. 助産実践科学分野

看護実践科学分野の知識や俯瞰的視摩を基盤として、国内外の母子を取り巻く深刻な健康課題と健康格差の課題解決に向かうために必要な研究者、教育者、実践家としての知識、技術、態度を学修します。また、ジェンダー不均衡やLGBTQ 等を含む多様な対象者へのケアに必要な性の多様性についても洞察を深め、社会障壁が礼たらす健康に与える影響についても学修し、生涯にわたって母子保健の向上とジェンダーの平等に向けて取り組む姿勢を培います。

本研究科における教育の概念図

グローバル社会に暮らす多様な人々への健康支援と質の高い看護が提供できる高度な看護実践専門職者 看護特別研究(国内外でのフィールド調査・データ収集・分析・報告) 뮒 看護研究演習(文献検索・クリティーク・研究課題の明確化) -臨床看護の追求--公衆衛生の向上--母子保健/ジェンダー平等の向上-看護実践科学 公衆衛生看護実践科学 助産実践科学 多様性をもつ女性や子どもへの 質の高い助産実践の探求と ジェンダー平等に向けた活動実践 社会包摂の課題解決に向けた 成熟した公衆衛生看護実践の探求 <基盤専門看護学> 看護管理物論、慢性・老年看護物論、 がん看護物論 公束衛生看護学特論、公衆衛生看護 学実践特論、公衆衛生看護学実践特 科 目 アイネットワーギンク語、地域ケア システム論、学校保健論、産業保健 法、健康危機管理論、グローバルコ ミュニティマネジメント論、保健医 機構社行政論、公衆衡生学研究レ ビュー、保健政策研究 等 <国際地域看護学> 地域在宅看護特論、精神保健特論、 国際保健活動特論 等 現地の人々の視点による課題 多様性への理解と洞察 文化・歴史・宗派・価値網等 国際的視野の涵養 解決能力 フェールド調査・研究の基礎知識 繰り返し積み上げていくリフレクションと資質の向上 ___ 専門性と社会的包摂の 多様な言語・文化・価値を 人権意識・高潔な倫理 乗り越える関係性の構築と協調性 観と使命感・高い志

図 大手前大学大学院国際看護学研究科看護学専攻における教育の概念図 ※上記機念図は構想中の内容です。また、分野名・科目名は変更する場合があります。

修了後の進路

研

究

臽

大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)」の修了生は、以下等での活躍が期待されます。

- 看護実践科学分野:一般総合病院、国際医療対応の医療機関認証制度(JMIP)認定医療機関、国際協力機関 等
- 公衆衛生看護実践科学分野:地域の保健所、在宅看護及び訪問看護ステーション、国際協力機関 等
- 助産実践科学分野:地域の周産期医療機関、国際協力機関 等

上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

<u>こちらは概要の裏面です。表面からお読みください。</u>

■ 看護実践科学分野

単位:円

大学院名(所在地) 研究科·専攻·分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(看護実践科学分野) ※研究科・専攻・分野名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000			950,000
森/宮医療大学大学院(大阪) 保健医療学研究科 看護学専攻	300,000	800,000			15,000	1,115,000
摂南大学大学院(大阪) 看護学研究科 看護学専攻	150,000	770,000		120,000		1,040,000

■ 公衆衛生看護実践科学分野 (保健師コース)

単位:円

- Print - Harris 19						
大学院名(所在地) 研究科·専攻·分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(公衆衛生看護実践科学分野) ※研究科・専攻・分断名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000		150,000	1,100,000
京都看護大学大学院(京都) 看護学研究科 看護学専攻	200,000	500,000			100,000	800,000
武庫川女子大学大学院(兵庫) 看護学研究科 看護学専攻	280,000	700,000		200,000	16,000	1,196,000

■ 助産実践科学分野 (助産師コース)

単位:円

大学院名(所在地) 研究科· 専攻· 分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(助産実践科学分野) ※研究科・専攻・分野名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000		300,000	1,250,000
同志社女子大学大学院(京都) 看護学研究科 看護学專攻	180,000	950,000			210,000	1,340,000
関西看護医療大学大学院(兵庫) 看護学研究科 看護学専攻	200,000	700,000	300,000			1,200,000

- ※ 大手前大学大学院 国際看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。
- ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年10月時点)。 ※いずれも諸会費を含みません。また、数材費などが別途必要な場合があります。

ク セ ス

研究科の学費(他大学を含む)

縁につつまれた大阪の中心地で、校舎の目の前には大阪城がひろがるグッドポジションです。





上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

資料2 入学意向についてのアンケート調査用紙





大手前大学大学院

「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称・設置構想中)」
入学意向についてのアンケート調査 (対象:看護職者の皆様、国際看護学部在学生の皆様)
【記入例】 ● ② ◎ ○
・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。 ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。
問1 あなたが現在、お住まいの府県をお答えください。 (あてはまるもの1つにマーク)
○ 大阪府 ○ 兵庫県 ○ 奈良県 ○ 京都府 ○ 滋賀県 ○ 和歌山県 ○ その他
問 2 あなたの現在の所属先(勤務先・通学先)についてお答えください。 (あてはまるもの1つにマーク)
① 医療機関 ① 介護保険関連施設 ① 訪問看護ステーション ① 行政 (保健センター・保健所) ① 大学生 (学部生) ① その他
問 3 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在学生の方は取得予定のものをお答えください。(あてはまるもの全てに マーク)
○ 看護師 ○ 保健師 ○ 助産師 ○ その他
問 4 あなたの看護職者としての累計勤務年数を お答えください。 (あてはまるもの1つにマーク)
〇 経験なし 〇 2年未満 〇 2~4年 〇 5~9年 〇 10~14年 〇 15~19年 〇 20年以上
問 5 あなたの最終学歴をお答えください。現在学生の方は卒業予定のものをお答えください。(あてはまるもの 1 つにマーク)
① 高校卒 (看護科以外) ① 高校看護科卒 ① 専門学校卒 ① 短期大学卒 ① 大学卒 ① 大学院以上
問 6 以降は別紙・大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」概要をご覧いただき、お答えください。
問 6 あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの 1 つに $v-2$
○ 受験したい ⇒ 問7・問8・問9にお答えください。
() 受験しない ⇒ 問10・問11にお答えください。



本アンケート調査用紙に印刷されている QRコードは集計時に使用するものです。 個人の特定を目的とするものではありません。





問7~問9は、問6で「受験したい」とした方がお答えください。

- 問7 あなたは大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。 (あてはまるもの1つにマーク)
- 入学したい 状況によって入学を検討したい
- 間 8 大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」において、あなたが希望する分野をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)
- 看護実践科学分野
- () 公衆衛生看護実践科学分野(保健師国家試験受験資格取得)
-) 助産実践科学分野(助産師国家試験受験資格取得)
- 間 9 あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に「入学したい」または「状況によって入学を検討したい」とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てにマーク)
- () 臨床の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので 将来、臨床の現場の指導者、指導的役割を担いたいので
- igcup 保健師または助産師として活躍したいので igcup 将来、教育者、研究者になりたいので
- 国際的に活動する看護職になりたいので その他

問10~問11は、問6で「受験しない」とした方がお答えください。

- 間 10 あなたが大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。 (あてはまるもの全てにマーク)
- () 大学院に進学する必要性を感じないため
- 大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」に魅力を感じないため
 経済的、金銭的理由
- \bigcirc 仕事が忙しいため \bigcirc 子育て中のため \bigcirc 家庭の事情 \bigcirc その他
- 間 11 どのような条件が整えば看護系大学院への進学を検討されるかご記入ください。

2

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



本アンケート調査用紙に印刷されている QRコードは集計時に使用するものです。 個人の特定を目的とするものではありません。

【別添資料 5 】私立大学大学院「看護学研究科」修士課程及び博士前期課程 学納金一覧

F\J31	【別称貝付5】似立入于八子匠「有限于切允付」修工除住及い将工削別除住于附立一見									
番号	大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料	その他	合計	備考		
1	聖泉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	500,000	200,000	900,000			
2	京都橘大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	450,000	180,000	830,000			
3	京都光華女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	180,000	930,000		1,110,000			
4	同志社女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	180,000	950,000		1,130,000	助産実践科学分野は別途実習費210,000円。合計 1,340,000円		
5	京都看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	500,000		700,000			
6	大阪医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	480,000	100,000	780,000			
7	関西医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	500,000	100,000	800,000			
8	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	300,000	800,000	77,000	1,177,000			
9	関西医療大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	300,000	600,000		900,000			
10	藍野大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	100,000	600,000	150,000	850,000			
11	四天王寺大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	380,000	220,000	800,000			
12	摂南大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	150,000	770,000	120,000	1,040,000			
13	神戸女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	600,000	150,000	950,000			
14	甲南女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	400,000	100,000	700,000			
15	関西福祉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	240,000	350,000	100,000	690,000			
16	武庫川女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	280,000	545,000	105,000	930,000	看護学研究保健師コースは授業料700,000円、その他 216,000円。合計1,196,000円		
17	兵庫医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	100,000	400,000	100,000	600,000			
18	関西国際大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	900,000		1,100,000			
19	関西看護医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	300,000	600,000	200,000	1,100,000	母性看護・助産学分野(高度実践看護職養成コース) は他に実習費300,000円。合計1,400,000円		
20	姫路大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	550,000	150,000	900,000			
21	兵庫大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	300,000	250,000	750,000			
22	畿央大学大学院	健康科学研究科	健康科学専攻	190,000	500,000	250,000	940,000			
23	奈良学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	435,000	315,000	950,000			
			平均額	205,217	566,957	159,278	896,826	(単位:円)		
Sec 25 1	W () B									

※ 各大学公式WEBサイトより

【別添資料 6 】大手前大学通信教育課程の入学定員超過・収容定員充足状況等一覧 (平成30~令和 3 年度)

項目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	4年間の平均
供口	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	4年间の十均
入学定員超過率 ※1	0.16	0.22	0.24	0.35	0.24
入学者数(正科生) ※2	81人	113人	122人	177人	123人
入学定員	500人	500人	500人	500人	500人
科目等履修生・聴講生	281人	377人	344人	390人	348人
収容定員充足率 ※3	0.56	0.63	0.69	0.75	0.65
在籍学生数(正科生) ※4	1,697人	1,916人	2,078人	2,272人	1,990人
収容定員 ※5	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人

- ※1 入学定員超過率=入学者数(正科生)/入学定員
- ※2 入学者数(正科生)は編入学生数を除く
- ※3 収容定員充足率=在籍学生数(正科生)/収容定員
- ※4 在籍学生数(正科生)は各年度の5月1日現在(学校基本調査)
- ※5 収容定員のうち、編入学(3年次)500人

(※1、※3で算出した数値は小数点第3位以下を切捨て)

通信教育課程:大手前大学 現代社会学部現代社会学科 通信教育課程



令和2年度医療機関における外国人患 者の受入に係る実態調査について (概要版)

厚生労働省 医政局 総務課 医療国際展開推進室



令和2年度実態調査の概要

調査の目的

- 本調査は、医療機関の外国人患者受入能力向上のための基礎資料を得ることを目的として、医療機関の外国人に対する医療提供体制の 現状を把握するために実施。
- 本調査では、調査A、調査Bの2つの調査を実施。
 - 調査A: 医療機関における外国人受入体制の把握 (医療通訳および医療コーディネーターの配置状況、診療費請求方法 等)
 - 調查B: 医療機関における外国人患者の受入実績の把握 (患者数、未収金発生件数等)

調査対象と調査手法

対象:全国全ての病院と京都府・沖縄県の診療所(歯科診療所を含む)を対象とした任意アンケート調査

手法: 都道府県から管下の医療機関へ調査の協力依頼がなされ、医療機関が厚生労働省のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答の 上、調査票を電子的に調査業者に送付した。(未回答の医療機関に対しては2021年1月に追加の協力依頼を実施)

主な調査事項り

調査票A(受入体制)

- 医療機関向けマニュアルの認知状況
- 厚生労働省による外国人患者の受入れ事業の 認知状況
- 外国人患者に対応する体制整備状況
- 医療コーディネーターの配置状況
- 多言語化(医療通訳・電話通訳・ビデオ通訳・自
 - 動翻訳デバイス等)の整備状況
 - 院内表示の状況
 - 訪日外国人旅行者に対する診療価格
 - 医療通訳の費用

調査票B(受入実績

- 外国人患者数
- 未収金発生件数 未収金となった各事例の状況

調査期間・回収率

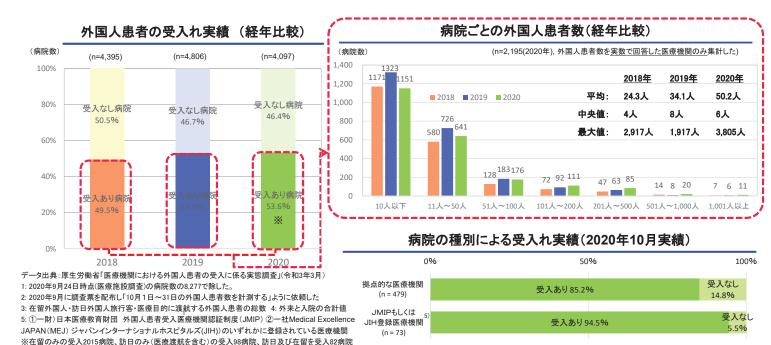
調査票の種類(A, B)と送付対象	調査期間	対象医療機関数2)	回収数	回収率
病院A	令和2年 9月1日 ~ 令和2年 10月20日	8,277	4,800	58.0%(67.8)
病院B	令和2年 10月1日 ~ 令和2年 12月16日	8,277	4,097	49.5%(57.4)
診療所A	令和2年 9月1日 ~ 令和2年 10月20日	5,018	963	19.2%(15.1)
診療所B	令和2年 10月1日 ~ 令和2年 12月16日	5,018	727	14.5%(13.3)
				·

- 1) 調査票はhttps://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202918_00014.html に掲載しています
- 病院A, 病院B 2020年10月1日時点(医療施設調査)の病院数
- 学生確保(資料) -40-

(1)外国人患者の受入れ実績



- 都道府県を通じて、全ての病院に調査を依頼したところ、4,097病院(5割1)より回答を得た。
- <u>2020年10月1日~31日</u>の外国人患者数を前向きに調査²⁾したところ、回答病院中、約5割で外国人患者^{3,4)} の受入れがあり、過去2回と同様の水準であった。
- 都道府県の選出する「外国人患者を受入れる<u>拠点的な医療機関」(以下、拠点的な医療機関)では、より多く、8割以上で外国人患者の受入れ</u>があった。
- 病院ごとの外国人患者数の中央値は、過去3回で、4人→8人→6人であった。

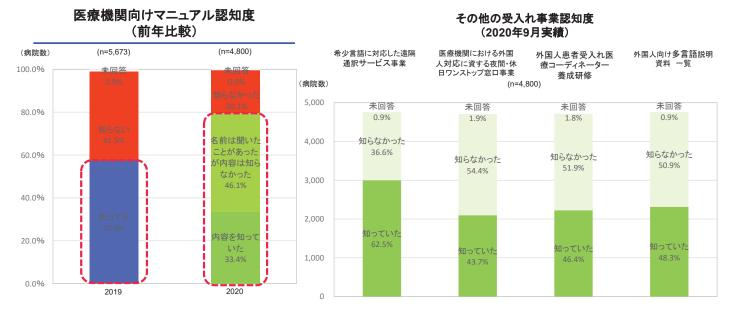


調査票A(病院)

(2) 医療機関向けマニュアル等の認知度調査



- 国による**外国人患者受入れのための支援策等の認知度を調査**した。
- 回答した4,800病院のうち、厚生労働省研究班が作成した「外国人患者受入れのための医療機関向けマニュアル」」を「知らなかった」と回答したのは2割であり、昨年(約4割)より減少した。
- その他、厚生労働省による外国人患者の受入れ事業に関しては、「希少言語に対応した遠隔通訳サービス 事業」の認知度が最も高く、6割以上が「知っていた」と回答した。



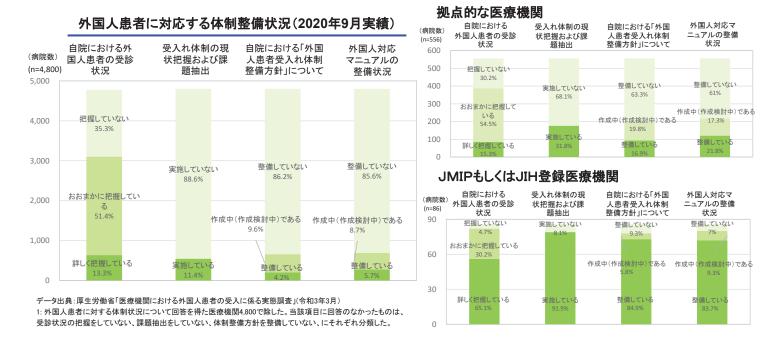
データ出典:厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」(令和3年3月)

1: 平成30年度 厚生労働省 政策科学推進研究事業「外国人患者の受入れのための医療機関向はマニア(資料) -41-

(3) 外国人患者に対する体制整備状況



- <u>自院における外国人患者の受診状況を把握していない病院が、4割(1,696</u>病院)¹⁾あった。
- 受入れ体制の「現状把握および課題の抽出」をしていない病院は9割(4,253病院)¹⁾。自院の「外国人受入 れ体制整備方針」を整備していない病院は9割(4,139 病院)¹⁾であった。
- 体制整備状況を、病院機能別にみた場合、拠点的な医療機関でも、「現状把握および課題の抽出」等取組 みについて、6割以上の医療機関が未実施。一方、JMIPもしくはJIH登録医療機関では、「現状把握および 課題の抽出」、「受入れ体制整備方針」、「マニュアルの整備」を8割以上で実施していた。

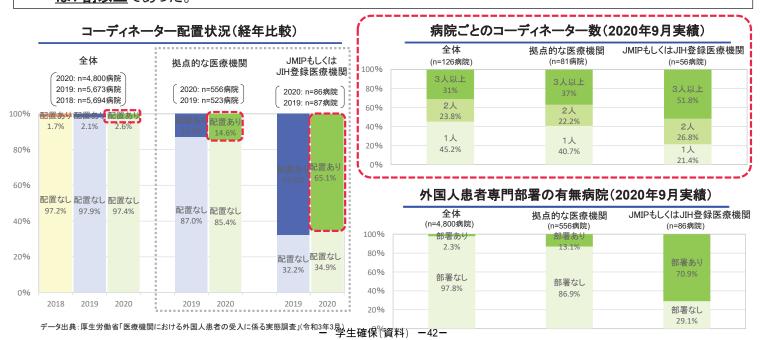


調査票A(病院)

(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーターの配置実績



- <u>外国人患者受入れ医療コーディネーターの配置</u>について、回答があった、全4,800病院のうち、配置していたのは126病院(1割未満)であり、昨年度と同様の割合であった。
- 拠点的な医療機関(556病院)のうち、コーディネーターを配置していたのは81病院(約1割)であった。
- コーディネーターの配置率は、拠点的な医療機関やJMIPもしくはJIH登録医療機関でより高かった。
- <u>外国人患者専門部署</u>の設置率は、<u>拠点的な医療機関では1割程度だが、JMIPもしくはJIH登録医療機関で</u>は7割以上であった。



(5) 外国人患者受入れ医療コーディネーターの業務体制・役割



- <u>外国人患者受入れ医療コーディネーター</u>を配置している病院の<u>6割以上で、業務体制は兼任のみ</u>であったが、過去3回で<u>専任者の配置がある割合は、31.6%→35.6%→38.1%と増加の傾向</u>にあった¹⁾。
- 兼任者のうち最も多い職種は事務職員であった。
- コーディネーターの役割では、「**院内の部署・職種間の連絡調整」**が最多であった。
- 次いで「**患者や患者家族とのコミュニケーション**」が多かった。



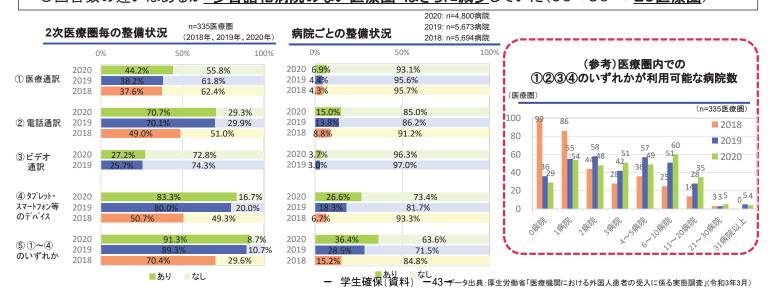
調査票A(病院)

停 厚生労働省

(6)多言語化(医療通訳・電話通訳・ビデオ通訳・自動翻訳デバイス等)の整備状況

- **2次医療圏ごとの多言語化率**を昨年と比較すると、**全体的に多言語化の整備が進んでいる傾向**であった。 令和2年度、
 - ①医療通訳者が配置された病院がある2次医療圏は
 - ②電話通訳が利用可能な病院がある2次医療圏は
 - ③ビデオ通訳が利用可能な病院がある2次医療圏は
 - ④タブレット端末・スマートフォン端末等の利用可能な病院がある2次医療圏は
 - <u>5</u>1234の<u>**いずれかが利用可能な病院がある2次医療圏</u>はであった**。</u>

- 148医療圏(4割)
- 237医療圏(7割)
- 91医療圏(3割)
- 279医療圏(8割)
- 306医療圏(9割)
- ○回答数の違いはあるが"多言語化病院のない医療圏"はさらに減少していた(99 \rightarrow 36 \rightarrow 29医療圏)

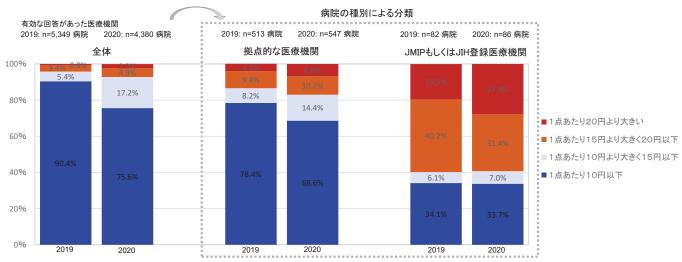


(7)外国人患者に対する自由診療の診療価格



- 診療価格の決定方法について、引き続き、9割以上の病院¹⁾が、診療報酬点数表を活用した倍数計算(いわゆる1点=○○円として換算すること)を行っていた。
- 診療報酬点数表を活用していた回答(n=4,380)のうち、約4分の1の病院が1点あたり10円を超える診療価格の設定をしていた。2019年の約1割と比べ増加が見られた。
- 外国人患者の受入れが多い、JMIPもしくはJIH登録医療機関(n=86)²⁾に限ると、<u>7割近い病院が1点あたり</u> 10円を超えて請求していた。
- 拠点的な医療機関では、全体より1点10円を超える価格設定をしている医療機関が多い傾向にあった。

自由診療における診療価格(診療報酬点数「1点」あたりの請求額)の分布



データ出典: 厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」(令和3年3月)

1: 診療報酬点数表を用いていない医療施設では、「病院独自の料金設定」を用いていた。 2: ①一財)日本医療教育財団 外国人患者受入医療機関認証制度 ②一社Medical Excellence JAPAN(MEJ) ジャパンインターナショナルホスピタルズ(JIH))のいずれかに登録されている病院。

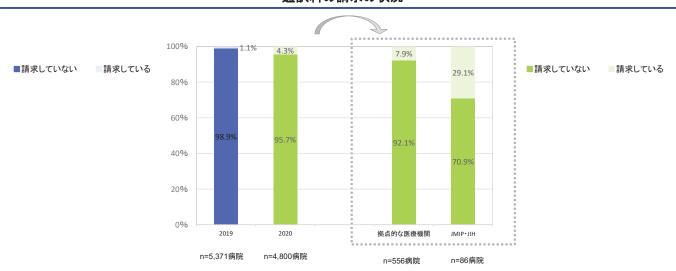
調査票A(病院)

(8)医療通訳の費用



- 外国人診療において、診療費以外の追加的費用として、<u>通訳料を請求している病院¹゚の割合は、約4%</u>であった。
- 通訳料を請求している病院¹¹の割合は、JMIPもしくはJIH登録医療機関(n=86)²¹に限ると3割、拠点的な 医療機関(n=556)に限ると約8%であった。
 - ※ なお、医療通訳の費用は、自由診療だけでなく、社会保険診療においても、医療機関は患者に 請求可能である。

通訳料の請求の状況



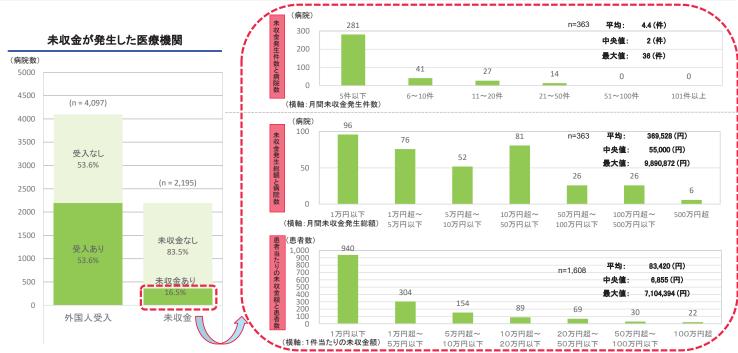
データ出典:厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」(令和3年3月)

1: 通訳料について回答した4,800病院を分析対象とした。

(9)未収金の発生状況



- 本調査において、未収とは請求日より1ヶ月たっても、診療費の一部又は全額が払われていないこととした。
- <u>2020年10月1日~31日</u>に外国人患者¹⁾の受入れ実績のある2,195病院において、<u>363病院(16.5%) が、外国人患者による未収金を経験</u>していた²⁾。
- 未収金があった病院のうち、病院あたりの未収金の発生件数は平均4.4件、総額は平均37.0万円であった。



データ出典:厚生労働省「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」(令和3年3月)

1: 在留外国人・訪日外国人旅行客・医療目的に渡航する外国人患者の総数 2: 未収金を生じた患者の延べ数または未収金の合計金額を報告した病院を集計した。 ※ 未収金の定義を変更したため前年比較は行っていない

【別添資料8】在留外国人数の推移(平成24~令和3年)

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
(2012年)	(2013年)	(2014年)	(2015年)	(2016年)	(2017年)	(2018年)	(2019年)	(2020年)	(2021年)
2,033,656	2,049,123	2,086,603	2,172,892	2,307,388	2,471,458	2,637,251	2,829,416	2,885,904	2,823,565

^{*}平成25~令和3年は各年6月時点。平成24年のみ12月時点。

単位(人)

^{*}法務省「在留外国人統計」より

【別添資料9】都道府県別在留外国人数(令和3年)

都 道 府 県	総 数	構 成 比
総数	2,823,565	100.0%
北海道	38,451	1.4%
青森県	6,141	0.2%
岩手県	7,695	0.3%
宮城県	21,993	0.8%
秋田県	4,200	0.1%
山形県	7,730	0.3%
福島県	14,712	0.5%
茨城県	72,279	2.6%
栃木県	43,521	1.5%
群馬県	63,174	2.2%
埼玉県	198,548	7.0%
千葉県	168,048	6.0%
東京都	541,807	19.2%
神奈川県	230,301	8.2%
新潟県	17,571	0.6%
富山県	18,920	0.7%
石川県	15,272	0.5%
福井県	16,306	0.6%
山梨県	17,185	0.6%
長野県	36,656	1.3%
岐阜県	58,412	2.1%
静岡県	99,143	3.5%
愛知県	269,685	9.6%
三重県	55,331	2.0%
滋賀県	33,860	1.2%
京都府	59,825	2.1%
大阪府	250,071	8.9%
(大阪市)	(142,854)	(5.1%)
兵庫県	113,772	4.0%
奈良県	14,075	0.5%
和歌山県	7,322	0.3%
近畿二府四県	478,925	17.0%
鳥取県	4,772	0.2%
島根県	9,676	0.2%
岡山県	30,823	1.1%
広島県	53,604	1.1%
山口県	16,777	0.6%
徳島県	6,548	0.8%
香川県	13,832	0.5%
愛媛県	12,931	0.5%
高知県	4,725	0.2%
福岡県	79,206	2.8% 0.2%
佐賀県 長崎県	6,909	
	9,431	0.3%
熊本県 七八県	17,557	0.6%
大分県	12,665	0.4%
宮崎県	7,566	0.3%
鹿児島県	12,445 19,205	0.4%
沖縄県		

^{*}法務省「在留外国人統計」より

【別添資料10】在留外国人総数上位100市区町(令和3年)

1 2 3	川 東 東	京]			
		京				市	38,962
3	東		都	I 戸	Ш	区	36,776
		京	都	新	宿	区	36,090
4	東	京	都	足	立	区	33,824
5	東	京	都	江	東	区	30,785
6	大	阪	市	生	野	区	27,264
7	東	京	都	板	橋	区	26,610
8	東	京	都	豊	島	区	25,455
9	東	京	都	大	田	区	24,202
10	東	京	都	葛	飾	区	22,293
16	東		大	阪		市	18,861
31	神	戸	市	中	央	区	12,793
35	尼		此	奇		市	11,998
36	姫		路	各		市	11,486
40	大	阪	市	西	成	区	10,327
54	大	阪	市	浪	速	区	9,108
56	大	阪	市	中	央	区	8,972
60	京	都	市	伏	見	区	8,834
63	大	阪	市	平	野	区	8,339
68	八		厚	킽		市	7,906
74	大	阪	市	淀	Л	区	7,496
82	西		色			市	7,229
86	大	阪	市	東	成	区	7,104
87	京	都	市	左	京	区	7,084
88	大	阪	市 戼	東 淀	Ш	区	7,060
92	神	戸	市	長	田	区	6,967
94	神	戸	市	東	灘	区	6,638

^{*}法務省「在留外国人統計」より

【別添資料11】就業保健師・助産師・看護師数及び率(人口10万対)令和2年末時点

		実数		率(人口10万対)			
	保健師	助産師	看護師	保健師	助産師	看護師	
全国	55595	37940	1280911	44.1	30.1	1015.4	
北海道	3065	1620	66733	58.7	31	1277.3	
青森県	718	336	13211	58	27.1	1067.1	
岩手県	758	390	13922	62.6	32.2	1150.1	
宮城県	1136	767	20893	49.3	33.3	907.6	
秋田県	619	309	11554	64.5	32.2	1204.2	
山形県	662	359	12067	62	33.6	1129.8	
福島県	1094	522	17654	59.7	28.5	963	
茨城県	1295	757	23523	45.2	26.4	820.5	
栃木県	968	555	17702	50.1	28.7	915.7	
群馬県	1031	518	19879	53.2	26.7	1025.2	
埼玉県	2258	1767	54124	30.7	24.1	736.9	
千葉県	2124	1583	48391	33.8	25.2	770	
東京都	4464	4322	120049	31.8	30.8	854.6	
神奈川県	2482	2384	73139	26.9	25.8	791.8	
新潟県	1178	759	23390	53.5	34.5	1062.6	
富山県	672	411	13075	64.9	39.7	1263.5	
石川県	564	354	15017	49.8	31.3	1326	
福井県	485	255	9216	63.2	33.3	1201.8	
山梨県	650	265	8470	80.2	32.7	1045.7	
長野県	1691	900	23423	82.6	43.9	1143.7	
岐阜県	1061	645	18724	53.6	32.6	946.3	
静岡県	1727	976	34536	47.5	26.9	950.6	
愛知県	2848	2386	64927	37.8	31.6	860.8	
三重県	798	464	17866	45.1	26.2	1009.2	
滋賀県	688	495	14512	48.7	35	1026.6	
京都府	1238	897	28555	48	34.8	1107.6	
大阪府	2446	2896	84826	27.7	32.8	959.8	
兵庫県	1903	1493	57521	34.8	27.3	1052.5	
奈良県	555	399	13702	41.9	30.1	1034.5	
和歌山	467	235	11259	50.6	25.5	1220.4	
鳥取県	354	257	7556	64	46.4	1365.4	
島根県	536	340	9083	79.9	50.7	1353.4	
岡山県	1069	553	24240	56.6	29.3	1283.6	
広島県	1323	671	32704	47.3	24	1168.1	
山口県	752	429	17919	56	32	1335.2	
徳島県	396	283	9295	55	39.3	1291.8	
香川県	605	320	11878	63.7	33.7	1250	
愛媛県	731	325	17259	54.8	24.3	1293	
高知県	558	196	11226	80.7	28.3	1623.4	
福岡県	2002	1487	64086	39	29	1248	
佐賀県	511	256	11389	63	31.5		
長崎県	753	453	18329	57.4	34.5		
熊本県	1038	502	24097	59.7	28.9	1386.2	
大分県	776	344	15055	69	30.6	1339.6	
宮崎県	700	351	14631	65.4	32.8	1367.9	
鹿児島県	1027	618	23443	64.7	38.9	1476	
沖縄県	819	536	16861	55.8	36.5		

^{*} 令和2年末現在

単位(人)

^{*}厚生労働省「衛生行政報告例」より

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部 2020 年 3 月 27 日



文部科学省高等教育局に要望書提出 保健師・助産師教育の大学院教育への移行を要望

公益社団法人日本看護協会(会長:福井トシ子、会員74万人)は3月25日、文部科学省高等教育局の伯井美徳局長に、令和3年度予算・政策に関する要望書を提出しました。報道関係の皆さまにおかれましては、要望の趣旨をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。

保健師・助産師の修業年限は、2009年度の保健師助産師看護師法改正で、「6カ月以上」から「1年以上」に改正されました。また、2022年度からスタートする新カリキュラムでは、看護師教育は97単位から102単位へ、保健師教育・助産師教育はそれぞれ28単位から31単位へ履修単位数が増加されます。

そのような中、4 年間で保健師と看護師の養成をあわせて行っている大学は248 課程、助産師の養成をあわせて行っている大学は84 課程となっています(2019 年度)。



伯井局長(右)に要望書を手渡す福井会長

福井トシ子会長は「大学では4年間の看護師教育を行い、保健師・助産師教育は速やかに大学院教育へ移行していただきたい」と要望書を手渡しました。岡島さおり常任理事からは、特に看護師・保健師・助産師の3つの養成を4年間で実施している大学が80課程あることを指摘。各資格の専門性を身に着けるためには、4年間の看護師基礎教育を土台として、保健師・助産師の教育を積み上げることが必要と訴えました。伯井局長は「大学院教育課程は徐々に増えている。大学が地域でどのような役割を果たしたいかの声に応じて、各大学の取り組みを後押ししたい」としました。

また、看護系大学の増加により実習施設の確保および実習指導者の養成・確保が急務となっている中で、都道府県などが実施する実習指導者講習会には地域差があり、実施回数も十分でない状況を説明。「厚生労働省と連携し、実習指導者の養成の推進をお願いしたい」と看護職養成に実習指導者が果たす役割の重要性を訴えました。

《要望事項》 質の高い看護系人材の養成推進

文部科学省 高等教育局長 伯井 美徳

礟

公益社団法人 日本看護協会[記書] 会長 福井 トシギー[加末]

今和3年度予算·政策に関す
 5要望書

構築が急がれており、看護職に求められる役割や活躍の場がこれまで以上に拡大しています。社会からの わが国では少子超高齢化の進行、それに伴う患者像の複雑化に対応するため、地域包括ケアシステムの 期待に応えるためには、保健師・助産師・看護師ともに、さらなる専門性の発揮が必要です。

とりわけ、看護師には状況を的確に観察・判断し、状況に応じて適切に対応できる看護実践能力の向上が 不可欠であり、基礎教育の強化は喫緊の課題です。 つきましては、大学における看護師の養成および大学院における保健師・助産師養成についてご尽力を賜 りますよう要望いたします。

要望事項

質の高い看護系人材の養成推進

質の高い看護系人材の養成推進

- 1)大学での保健師教育・助産師教育を、大学院教育へ速やかに移行されたい
 - 2)教育体制・教育環境の整備への支援をはかられたい
- 1)保健師・助産師教育を大学院教育へ速やかに移行
- 患者像の複雑化、療養の場の多様化に対応するには、すべての看護師により一層高い看護実践能力が必要とされ、看護師基礎教育の拡充が不可欠である。
- また、保健師・助産師養成の修業年限は、平成21年(2009年)度の保健師助産師看護師法改正により「6カ月以上」から「1年以上」に改正されている。
- 令和4年(2022年)度からスタートする新カリキュラムでは、看護師教育は97単位から102単位へ、保健師教育・助産師教育はそれぞれ28単位から31単位へ単位数が増加された。このような現状から、大学において、看護師教育および保健師教育または助産師教育を同時に行うことは、時間的制約が大きく、社会の要請に応える看護職を育成することは困難である。
- ●「しかし、保健師と看護師の養成をあわせて行っている大学はいまだ248課程存在し、 ⇒ うち23課程は保健師養成にかかる科目を必修としている。助産師教育についても、 財課程が実施している状況であり、看護師・保健師・助産師の3つの養成を4年間
 ⇒ で実施している大学も80課程存在している。
 ◎ 本元になる大学も80課程存在している。
 ◎ 本護実践能力の育成をはかるため、大学においては、4年間の看護師教育とする
 - ●選 看護実践能力の育成をはかるため、大学においては、4年間の看護師教育とする | ことが不可欠である。大学においては4年間の看護師教育とし、保健師教育・助産
 ☆ 師教育は速やかに大学院教育へ移行されたい。

2)教育体制・教育環境の整備への支援

- 看護系人村の養成における臨地実習の重要性は言うまでもなく、臨地実習のより ー層の充実に、実習指導者が果たす役割は大きい。加えて看護系大学の増加に より、実習施設の確保及び実習指導者の育成・確保が急務となっている。実際、養 成講習会は県によっては142.5%と定員を超える応募があり(平成29年(2017年)度 実績)、医療機関等から希望しても受講できないとの声も示されている。大学には リカレント教育・生涯教育の場としての期待も高い。
 - このたび「大学における看護系人材の養成の在り方に関する検討会」で検討された「看護学実習ガイドライン」においても、実習指導者の果たす役割の重要性が示されている。看護系大学においても実習指導者講習会がより多く開設されるための施策検討など、厚生労働省と連携し、実習指導者の養成に対して積極的に役割を果たされたい。
- また、看護実践能力の向上に資する臨地実習とするためには、これまで以上に事 前学習・演習等の連動が必要である。臨地実習での学びをいっそう深めるために、 臨床で活躍する看護職が学内演習等で教員を支援できるよう、代替要員のための 財政支援など仕組みの整備をはかられたい。

看護系大学における保健師・助産師教育の現状

星のうち				看護師十保健師教育	248	
平成31年(2019年)度284課程のうち	助產節課程	なし	32	161	7	
č31年(2019 :	即産	あり	4	64	16	84
出	看護師課程/保健師課程		看護師課程のみ	看護師課程+保健師 課程選択	看護師課程+保健師 課程 必修	

実習指導者講習会の実施状況

平成29年(2017年)度

 $(60.0 \sim 142.5\%)$ 最低一最高) 充足率 95.4% 94.5% 修了者数 3,026 971 **夾鞴右数** 3,036 定員数 1,035 3,182 準じる団体 都道府県 计編

厚生労働省医政局看護課調ベ

 $(47.5 \sim 167.5\%)$

公益社団法人 日本看護協会

雪罐拉令

大手前大学大学院

「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」

設置に係る人材需要の見通し調査

(採用意向についてのアンケート調査)

報告書

令和4(2022)年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

添	付 資 料	14
<u>人</u> 相	材需要の見通し調査結果 まとめ	13
3	集計結果のポイント	9
2	全質問項目の集計結果	3
1	採用意向についてのアンケート調査の概要	2

1 採用意向についてのアンケート調査の概要

調	査	目	的	令和5 (2023) 年4月開設に向け、設置構想中である大手前大学大学院「「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程」(仮称/入学定員 12名を予定)の採用意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、人材需要の見通しを測ることを目的とする。
調	査	時	期	令和3 (2021) 年12月~令和4 (2022) 年1月
調	査	対	象	以下の人事・採用担当者 病院(大阪府内の80床以上)379箇所 訪問看護ステーション(本研究科が設置予定の大阪市中央区ならびに周辺区)139箇所 介護老人保健施設(大阪市中央区ならびに周辺区)20箇所 特別養護老人ホーム(大阪市中央区ならびに周辺区)31箇所 地方自治体(大阪府庁および大阪府内の全市役所・町村役場、滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県の各府または県庁、京都市役所、神戸市役所)49箇所
調	査	内	容	選択肢式の8問。一部記述。 回答機関・施設の基本情報(所在地、種別、看護職員数)、大手前大学 大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の社会的ニ ーズ、採用意向について。
回	収	件	数	72 件

2 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」	79 <i>(</i> H-
採用意向についてのアンケート調査	72 件

問1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	大阪府	71	98.6%
2	兵庫県	0	0.0%
3	奈良県	0	0.0%
4	京都府	1	1.4%
5	滋賀県	0	0.0%
6	和歌山県	0	0.0%
7	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	숌計	72	100.0%

問2 貴機関・貴施設の種別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	医療機関	45	62.5%
2	介護保険関連施設	7	9.7%
3	訪問看護ステーション	11	15.3%
4	地方自治体	9	12.5%
5	看護系大学または教育機関	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	솜計	72	100.0%

貴機関・貴施設に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の看護職員はおられますか。(勤務されている場合、あて 問3 はまるものすべてにマークの上、勤務される人数を記載)

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	保健師	3	4.2%
2	助産師	6	8.3%
3	看護師	20	27.8%
4	看護教員	0	0.0%
5	勤務していない	38	52.8%
6	わからない	2	2.8%
	選択項目	勤務人数	回答数
		1	1
1	保健師	3	1
		21	1
2	助産師	20	1
2	以 医则	41	1
		1	4
		2	2
		3	1
3	看護師	7	1
3	信 	15	1
		250	1
		341	1
		482	1

大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思問4 われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	社会的ニーズは高い	10	13.9%
2	社会的ニーズはある程度高い	47	65.3%
3	社会的ニーズはあまり高くない	12	16.7%
4	社会的ニーズは高くない	1	1.4%
	無回答	2	2.8%
	合計	72	100.0%

大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材を採用した 問5 いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	16	22.2%
2	採用しない	8	11.1%
3	わからない	47	65.3%
	無回答	1	1.4%
	合計	72	100.0%

問6は、問5で「採用したい」と回答した者が回答対象である

大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する以下の看護職問6 者について、それぞれ分野別に採用可能と思われる人数をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つにマーク)

【看護実践科学分野】

	選択項目	回答数	構成比
1	1名	8	11.1%
2	2名	2	2.8%
3	3名	3	4.2%
4	4名	0	0.0%
5	5名以上	1	1.4%
6	採用しない・未定	2	2.8%
	無回答	0	0.0%
	合計	16	22.2%

【公衆衛生看護実践科学分野】

	選択項目	回答数	構成比
1	1名	6	8.3%
2	2名	0	0.0%
3	3名	1	1.4%
4	4名	0	0.0%
5	5名以上	1	1.4%
6	採用しない・未定	6	8.3%
	無回答	2	2.8%
	솜計	16	22.2%

【助産実践科学分野】

	選択項目	回答数	構成比
1	1名	4	5.6%
2	2名	0	0.0%
3	3名	1	1.4%
4	4名	0	0.0%
5	5名以上	1	1.4%
6	採用しない・未定	8	11.1%
	無回答	2	2.8%
	合計	16	22.2%

貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士 問7 課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	1	1.4%
2	現職のまま進学・入学させたい	3	4.2%
3	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	15	20.8%
4	進学・入学を推奨する予定はない	30	41.7%
5	わからない	18	25.0%
	無回答	5	6.9%
	슴計	72	100.0%

大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」について期待される点、ご要問8 望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

※原文ママ

内容	業種
外国人の患者の看護の質の向上	医療機関
学術的な分野だけでなく、臨床現場でも活躍できる優秀な看護師の輩出を期待しています。	医療機関
看護業務が務まる人財育成を願いしたいしたい	医療機関
看護実践科学の分野については、高度な実践を通して教育的な役割を担える人材として期	医療機関
待したい。	
具体的に話が進むようであればその都度進捗を共有して頂けますと幸いです。宜しくお願い	医療機関
申し上げます。	
公衆衛生看護実践科学分野は将来の新規感染症や予防医学の観点も含めて看護が担っ	医療機関
ていく部分は多いと思われるので期待したい。	
公聴会に参加させていただける機会があればいい。 	医療機関
国際化が進むなか、世の中のニーズに添った人の育成に期待いたします。	医療機関
今はなし	医療機関
社会のニーズはあるかと思うが、当院の設置理念や組織の状況から考えると、貴大学大学	
院卒の方を積極的に採用することは厳しいと考えます。(現在のところ、大学院卒の方の給	医療機関
与設定をしていません)	
就業しながらの在籍が可能か不明、要項に記載があった方がいいです。	医療機関
人格者、人材育成能力の高い人を要請希望	医療機関
大学院修了者が臨床の場にほぼいないので、どのように活躍できるかわからない	医療機関
地域に暮らすグローバル社会人の為小規模病院での活躍を期待する	医療機関
地域の根差した病院の管理者としては、国際看護学を学んだ看護師に十分に活躍してもら	
う受け入れが難しいと正直なところ感じました。分野を拝見していると助産実践科学分野も	医療機関
あり、助産師の専門性向上には役立つのかと思います。	
当院は精神科病院のため、精神疾患患者の治療から社会復帰に向けて、トータルにサポー	
トするための幅広い知識や多職種協働におけるマネジメント能力のある人材を求めていま	医療機関
す。今回設置される大学院で学べる具体的内容に興味があります。	
働きながら進学できる体制を整えて頂きたいと思います。	医療機関
特になし	医療機関
豊かな感性と理解を持ち、その知識を看護に活かしてくれることを期待します。	医療機関

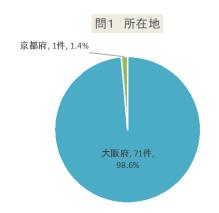
臨床現場に沿った看護を実践できる人材が望まれると思います。理論だけではない、その	G (5: 14) EB
方の人間性の教育を行える人材を育てて頂けることを願います。	医療機関
多様性社会での看護において、中心的な役割を担う人材の育成	介護保険関連施設
具体的にメリットがあればおしえていただきたい。	訪問看護ステーション
今ひとつ、具体的に何がしたいのかわからない。	訪問看護ステーション
在宅医療についてより実践的な知識、スキルを学べる過程を用意してください。	訪問看護ステーション
大きな病院で勤務される時には良いかと思います。	訪問看護ステーション
特にありません	訪問看護ステーション
訪問看護ステーションとしては特にありません	訪問看護ステーション

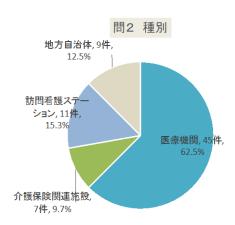
3 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

① 回答機関・施設の基本情報

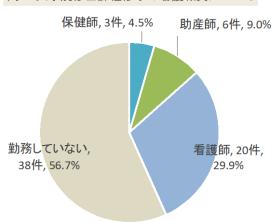
回答機関・施設の所在地で一番多かったのは、「大阪府」が71件(98.6%)で、次いで「京都府」が1件(1.4%)の順であった。また、種別で一番多かったのは、「医療機関」で45件(62.5%)、次いで「訪問看護ステーション」が11件(15.3%)、「地方自治体」が9件(12.5%)、「介護保険関連施設」が7件(9.7%)の順であった。





② 大学院修士課程を修了した看護職員の勤務状況について

回答機関・施設に大学院修士課程を修了した看護職員が勤務しているかを質問したところ、「保健師」が3件(4.5%)、「助産師」が6件(9.0%)、「看護師」が20件(29.9%)であった。また、「勤務している」と回答した機関・施設に対し、上記に当てはまる看護職員数について質問したところ、下記の表の通りであった。



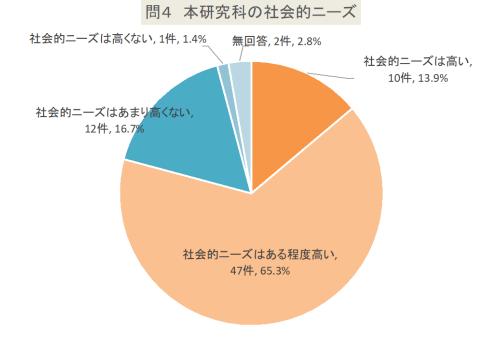
問3 大学院修士課程修了の看護職員について

	選択項目	回答	回答数
		1人	1
1	保健師	3人	1
		21人	1
2	助産師	20人	1
Ĺ	W) DE LIFE	41人	1
		1人	4
	看護師	2人	2
		3人	1
3		7人	1
ľ		15人	1
		250人	1
		341人	1
		482人	1

③ 回答機関・施設の 79.2%が本研究科の社会的ニーズの高さを認める

回答機関・施設に「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の社会的ニーズについて質問したところ、「社会的ニーズは高い」が 10 件(13.9%)、「社会的ニーズはある程度高い」が 47 件(65.3%)であった。

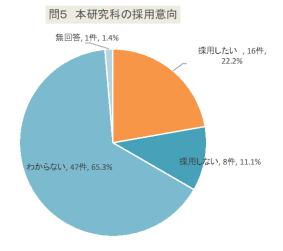
回答機関・施設 72 件のうち、79.2%にあたる 57 件が「国際看護学研究科 看護学専攻修士課程(仮称)」の社会的ニーズの高さを認める結果となった。



④ 回答機関・施設 22 件が採用意志を示す

回答機関・施設に「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の採用意向について質問したところ、「採用したい」と回答したのは16件(22.2%)であった。

また、「採用したい」と回答した機関・施設に対し、各分野の卒業生の採用可能と思われる人数について質問したところ、「看護実践科学分野」が26人、「公衆衛生看護実践科学分野」が14人、「助産実践科学分野」が12人で、合計すると52人であった。



【看護実践科学分野】 【公衆衛生看護実践科学分野】 【助産実践科学分野】

			•						
選択項目	回答数	人数	選択項目	回答数	人数	選択項目	回答数	構成比	
1名	8件	8人	1名	6件	6人	1名	4件	4人	
2名	2件	4人	2名	0件	삸	2名	0件	0人	
3名	3件	9人	3名	1件	3人	3名	1件	3人	
4名	0件	0人	4名	0件	삸	4名	0件	0人	
5名以上	1件	5人	5名以上	1件	5人	5名以上	1件	5人	
合計	16件	26人	合計	16件	14人	合計	16件	12人	

人材需要の見通し調査結果 まとめ

令和 5 (2023) 年 4 月に設置構想中の大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻修士課程(仮称)」の人材需要の見通しを測るため、設置予定地の大阪府を中心とした保健・医療機関、福祉施設の人事・採用担当者にアンケート調査を依頼し、合計 72 件から回答を得た。

「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の卒業生に採用意志を示したのは、回答機関・施設 72 件のうち、2 割以上にあたる 16 件であった。さらに、採用意志を示した回答機関・施設に対し、採用可能人数についても提示を求めたところ、「看護実践科学分野」が 26 人、「公衆衛生看護実践科学分野」が 14 人、「助産実践科学分野」が 12 人で、合計すると 52 人であった。「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」が予定する入学定員は 12 名であり、4.3 倍となる結果であった。

したがって、令和 5 (2023) 年に設置構想中である大手前大学大学院「国際看護学研究 科 看護学専攻 修士課程(仮称)」の人材需要の見通しについて問題がないと判断でき る。

添 付 資 料

資料1 大手前大学大学院「国際看護学研究科(仮称)」概要

資料2 採用意向についてのアンケート調査用紙

資料1 大手前大学大学院「国際看護学研究科(仮称)」概要

アンケートに答える前に大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 (仮称・設置構想中)の概要」をお読みください。

大手前大学 学 大

2023年4月開設に向け、設置構想中

国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)

研 究 概 開 設 時 期 ; 2023(令和5)年4月(予定)

開 設 場 所: 大手前大学 大阪大手前キャンパス(大阪市中央区大手前2-1-88) 修業年限:2年※大学院設置基準14条特例による長期履修制度を導入予定

入 学 定 員: 12名を予定/男女共学(収容定員:24名を予定)

取 得 学 位 : 修士(看護学)

取得可能資格 : 保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格

養成する人材: 高度な看護実践能力を基に、グローバル社会に暮らす多様な背景をもつ人々を対象に、人々の健康支援と幸せに貢献する

ことを使命として、多様な健康課題に取り組み、より良い看護を探求し、他の学際的な専門領域とも協働して課題解決を図る

グローバル人材を育成することを目的とする。

■本研究科の理念

本研究科では、研究者として併願的に物事を捉える能力と、専門性の高い看護学の知識と看護実践能力を基に、グローバル社会に募らす多様な背景をい つ人々を対象に、人々の健康支援と幸せに貢献することを使命として、人権意識と高潔な倫理観、使命感と高い志をもって社会の困難な健康課題に取り組 む看護研究や看護実践を行う人材を養成します。さらに、他の専門職とも恊働して課題解決を図るための看護実践が展開できる能力を育成します。そして、 研究、教育、実践の場において看護の探求を継続し、研究成果にもとづく看護実践を主体的に展開し、国際社会や地域社会の発展に貢献し、そこに暮らす 人々の健康とクオリティ・オブ・ライフ(Quality of Life)に貢献することを理念とします。

■3つの分野

1. 看護実践科学分野

基盤看護学領域、生涯発達看護学領域、国際地域看護学領域の3 領域を設け、多様な背景を有する人々のライフサイクルに沿った健康 課題に加えて、発育・発達期にみられる健康課題に関する知識を深め、 課題解決を図るための方策を議論し、臨床現場における看護実践の 質向上に向けた探求心を培います。

2. 公衆衛生看護実践科学分野

看護実践科学分野の学修を基盤として、様々な人々が暮らすグロー バル社会の枠組みを客観的に捉え、そこに暮らす個人や家族、集団 や組織、そして地域社会の健康支援に向けて取り組むための公衆衛 生看護学を学修します。また、社会システムの変革に取り組む視座も 培うためにデータがもつ意味や分析の重要性、分析結果の提示方法 等、プレゼンテーション能力についても、講義中のディスカッションを通 じて学修します。

3. 助産実践科学分野

看護実践科学分野の知識や俯瞰的視座を基盤として、国内外の母 子を取り巻く深刻な健康課題と健康格差の課題解決に向かうために 必要な研究者、教育者、実践家としての知識、技術、態度を学修しま す。また、ジェンダー不均衡やLGBTQ 等を含む多様な対象者へのケ アに必要な性の多様性についても洞察を深め、社会障壁がもたらす 健康に与える影響についても学修し、生涯にわたって母子保健の向 上とジェンダーの平等に向けて取り組む姿勢を培います。

本研究科における教育の概念図 グローバル社会に暮らす多様な人々への健康支援と質の高い看護が提供できる高度な看護実践専門職者

看護特別研究(国内外でのフィールド調査・データ収集・分析・報告) 뮒 看護研究演習(文献検索・クリティーク・研究課題の明確化) -臨床看護の追求--公衆衛生の向上--母子保健/ジェンダー平等の向上-看護実践科学 公衆衛生看護実践科学 助産実践科学 多様性をもつ女性や子どもへの 質の高い助産実践の探求と ジェンダー平等に向けた活動実践 社会包摂の課題解決に向けた 成熟した公衆衛生看護実践の探求 助度予結論、助應女性学、海域助經 要要、周度期等、即應的地度消費、周 度期發數免機管理ケア協、助應診断法等 川區接分下)。助應診断法等。 川區接分下)。助應診断法等。 川區接分下)。助應診断法等。 以應於可法域,助應研究レ 仁立一、助應診断法構業型、新生 男、與私男女子強、助應整數法數 便実践業型、等 <基盤専門看護学> 看護管理物論、慢性・老年看護物論、 がん看護物論 公束衛生看護学特論、公衆衛生看護 学実践特論、公衆衛生看護学実践特 科 アイネットワーギンク語、地域ケア システム論、学校保健論、産業保健 法、健康危機管理論、グローバルコ ミュニティマネジメント論、保健医 機構社行政論、公衆衡生学研究レ ビュー、保健政策研究 等 <国際地域看護学> 地域在宅看護特論、精神保健特論、 国際保健活動特論 等 現地の人々の視点による課題 多様性への理解と洞察 文化・歴史・宗派・価値網等 国際的視野の涵養 解決能力 フィールド調査・研究の基礎知識

乗り越える関係性の構築と協調性 図 大手前大学大学院国際看護学研究科看護学専攻における教育の概念図 ※ 上記概念図は構想中の内容です。また、分野名・科目名は変更する場合があります。

多様な言語・文化・価値を

人権意識・高潔な倫理

観と使命感・高い志

繰り返し積み上げていくリフレクションと資質の向上

進路

研

究

臽

大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (仮称)」の修了生は、以下等での活躍が期待されます。

専門性と社会的包摂の

- 看護実践科学分野:一般総合病院、国際医療対応の医療機関認証制度(JMIP)認定医療機関、国際協力機関 等
- 公衆衛生看護実践科学分野:地域の保健所、在宅看護及び訪問看護ステーション、国際協力機関 等
- 助産実践科学分野:地域の周産期医療機関、国際協力機関 等

上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

こちらは概要の裏面です。表面からお読みください。

■ 看護実践科学分野

単位:円

大学院名(所在地) 研究科· 専攻· 分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(看護実践科学分野) ※研究科・専攻・分野名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000			950,000
森/宮医療大学大学院(大阪) 保健医療学研究科 看護学専攻	300,000	800,000			15,000	1,115,000
摂南大学大学院(大阪) 看護学研究科 看護学専攻	150,000	770,000		120,000		1,040,000

■ 公衆衛生看護実践科学分野 (保健師コース)

単位:円

大学院名(所在地) 研究科·専攻·分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(公衆衛生看護実践科学分野) ※研究科・専攻・分野名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000		150,000	1,100,000
京都看護大学大学院(京都) 看護学研究科 看護学専攻	200,000	500,000			100,000	800,000
武庫川女子大学大学院(兵庫) 看護学研究科 看護学専攻	280,000	700,000		200,000	16,000	1,196,000

■ 助産実践科学分野 (助産師コース)

単位:円

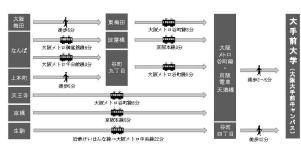
大学院名(所在地) 研究科· 専攻·分野名	入学金	授業料	施設設備費	教育充実費	実習費	初年度学費 (合計)
大手前大学大学院(大阪) 国際看護学研究科 看護学専攻(助産実践科学分野) ※研究科・専攻・分野名はすべて仮称	200,000	700,000	50,000		300,000	1,250,000
同志社女子大学大学院(京都) 看護学研究科 看護学専攻	180,000	950,000			210,000	1,340,000
関西看護医療大学大学院(兵庫) 看護学研究科 看護学専攻	200,000	700,000	300,000			1,200,000

- ※ 大手前大学大学院 国際看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。
- ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年10月時点)。 ※いずれも諸会費を含みません。また、数材費などが別途必要な場合があります。

緑につつまれた大阪の中心地で、校舎の目の前には大阪城がひろがるグッドポジションです。

ク セ ス

本研究科の学費(他大学を含む)





上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

資料2 採用意向についてのアンケート調査用紙

	뗈미
72	en e
	40.5



大毛前大学大学院

「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称・設置構想中)」
採用意向についてのアンケート調査 (対象:医療・保健機関、福祉関連施設の人事採用担当者様)
[記入例] 正しい回答 讃った回答
・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。 ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。
問 1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。 (あてはまるもの1つにマーク)
○ 大阪府 ○ 兵庫県 ○ 奈良県 ○ 京都府 ○ 滋賀県 ○ 和歌山県 ○ その他
問 2 貴機関・貴施設の種別をお答えください。 (あてはまるもの1つにマーク)
○ 医療機関 ○ 介護保険関連施設
○ 訪問看護ステーション ○ 地方自治体
① 看護系大学または教育機関
問3 貴機関・貴施設に、大学院修士課程(博士前期課程)修了の看護職員はおられますか。(勤務されている場合、あてはまるものすべてにマークの上、勤務される人数を記載)
【勤務している (ご支障なければ現時点で勤務されている人数を□内に記載ください)】
【勤務していない 又は わからない】 ○ 勤務していない ○ わからない
問4以降は別紙・大手前大学大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」概要をご覧いただき、お答えください。
間 4 大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの 1 つにマーク)
igcap 社会的ニーズは高い $igcap igcap $ 社会的ニーズはある程度高い $igcap igcap $ 社会的ニーズは高くない
問 5 大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。 (あてはまるもの 1 つにマーク)
\bigcirc 採用したい \Rightarrow 問 6 ・問 7 ・問 8 にお答えください。
本アンケート調査用紙に印刷されている スタ QRコードは集計時に使用するものです。

個人の特定を目的とするものではありません。





問 6	問 6 【問 6 は問 5 で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】大手前大学が設置構想中の大学院「国際看護学研究科 看護学専攻 修士課程(仮称)」が養成する以下の看護職者について、それぞれ分野別に採用可能と思われる人数をお答えください。 (それぞれあてはまるもの1つにマーク)													
	護実践		-		^			^					^	
0	1名		U	2名	0	3 名	1	0	4名	0	5名.	以上	0	採用しない・未定
【公	衆衛生	看護	起	 【科学分野	-									
0	1名		0	2名	0	3 名	1	0	4名	0	5名.	以上	0	採用しない・未定
【助	産実践	科学	分里	F]										
0	1名		0	2名	0	3 名	,	0	4名	0	5名.	以上	0	採用しない・未定
0 0 0 0	 問7 貴機関・貴施設で勤務されている看護職者・看護教員を大手前大学大学院「国際看護学研究科看護学専攻修士課程(仮称)」に進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つにマーク) ① 研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい ① 現職のまま進学・入学させたい ① 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる ① 進学・入学を推奨する予定はない ① わからない 													
問 8				置構想中の 記入くださ		院「	国際看	護学研	开究科	→ 看護学専攻	文 修士	課程(仮称	()] (C	ついて期待される点、ご要望等がありました

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



本アンケート調査用紙に印刷されている QRコードは集計時に使用するものです。 個人の特定を目的とするものではありません。